

ピロポロルール

■ ルール

- ① チーム代表がじゃんけんをして狩ったチームが左右どちらかのゴールを選ぶ
- ② 正審が笛を鳴らし「位置について」のコールで両チームの代表がセンターサークルへ、残りの選手が自陣コート(相手のゴールエリアがある方のコート)で待機する。
- ③ ゲーム開始は、フェイスオフ(正審が手を上げ、腰の位置からセンターサークル内に落としたボールをチーム代表1名が取り合う)で行い、パスをつなげて相手ゴールを狙う。
- ④ ボールがゴールに入ると、試合開始時同様にフェイスオフでサイスタートする。
- ⑤ 相手ゴールにボールが入ると1点となり、3点先取で1ゲームが終了となる。
- ⑥ 1ゲームごとにコートチェンジを行う。
- ⑦ 反則をした場合は、相手チームがフリーショット(反則参照)を行う。フリーショットをする選手以外は、フリーショットの地点より2m以上離れなければならない。

■ 試合の勝敗

- ① 試合時間は、1ゲーム10分間とし、時間内に3点先取した時点でゲーム終了となり、同点の場合は各チームから3名がゴールエリアの3m前よりゴールに向かって1回ずつショットし、その得点により勝敗を決する。それでも決まらない場合は、残りの選手が1名ずつ出てサドンデスで決定する。
- ② 1試合は、3ゲームマッチで行い、2ゲーム先取した方が勝ちとなる。
- ③ メンバーチェンジは、時間内であれば自由に何回でもできる。

■ 反則

- ① 次の反則が行われた場合、反則が行われた地点からボールを置いてショットする。但し、直接ゴールを狙うショットが出来ない。
 - ・ スティックを腰より上に振り上げてショットした場合
 - ・ 宙に浮いたボールを地面に落とさずにショットした場合
 - ・ スティックのスポンジ部分以外で捕球、打球した場合
 - ・ スティック以外で意識的にボールを操作した場合
 - ・ ゴールへの直接シュートをした場合
- ② 次の反則が行われた場合は、相手側がゴールエリアの任意の位置よりフリーショットをする。
 - ・ 攻撃側の選手がゴールエリア内に侵入したり、ゴールエリア内で誤ってショットした場合
- ③ 次の場合は、相手チームがペナルティショットをする。
 - ・ 防御側の選手がゴールエリアに侵入したり、ゴールエリア内で誤ってショットした場合。※故意と思われるものは、審判の判断で退場になる事もある。
- ④ 次の場合は退場となる。
 - ・ 故意に他のプレーヤー体やスティックをぶつけるなどの反則をした場合。

■ アウトボールからの処置

- ① ショットしたボールがサイドラインから外に出た場合。
 - ・ 処置：相手側が、出た地点からのサイドラインにボールを置いてショットする。
- ② 防御側の選手のショットしたボールが、エンドラインから外に出た場合。
 - ・ 処置：相手側が、ボールが出た地点に一番近いコーナーよりフリーショットする。
- ③ 攻撃側の選手がショットしたボールが、エンドラインから外に出た場合
 - ・ 処置：相手側ゴールエリア任意の位置よりフリーショットする。